

# AWS入門～第5回～

---

色々なサービスに触れてみる①

# 自己紹介

---

- 重本 尚志
- 略歴：
  - 徳島大学工学部卒業（2008-03）
  - 独立系IT企業に新卒として入社（2008-04）
  - C#やJavaを中心（クラサバ多め）に案件を転々とする。
  - 退職・独立（2017-01）
- 趣味：トレーディングカード収集
- 好きな食べ物：奈良漬、味噌ラーメン
- 11/12に受験したビジネスマネジャー検定試験：合格
- 最近買った日本酒：山桜桃

# 目次

---

- 前回のおさらい
- AWS Polly
- AWS WorkSpaces
  
- 今回の目的
  - 前回紹介したサービスのうち、AWS Polly及びAWS WorkSpacesを動かしてみる
  - 普段中々触る機会の少ないと思われるサービスに触ってみる

## 前回のおさらい①

---

- AWS WorkSpaces
  - AWS上で稼働するDaaS
  - 1つのWorkSpacesにつき、1ユーザーのみ割り当てられる
  - 最上位バンドルを除いては、月額・時間課金が選択できる
  - 対象OSはWindows
- AWS Polly
  - テキスト読み上げサービス
  - 多言語に対応しており、マークアップ言語も利用できる

## 前回のおさらい②

---

- AWS Rekognition
  - 画像解析サービス
  - サーバにデータを残せるのは、顔データのみ
  - 対応形式はJPEG、PNG
- AWS Lambda
  - サーバーレスでコード実行可能なコンピューティングサービス
  - 仮想サーバ、物理サーバを用意しなくても、コードの実行ができる
  - イベント駆動型アプリケーションで、複数のAWSサービスイベントを起点として起動できる

# AWS Polly

Amazon Polly

テキスト読み上げ機能

レキシコン

## テキスト読み上げ機能

音声の聴き取り、カスタマイズ、ダウンロード。準備が整ったら統合。

ウィンドウにテキストを入力するか貼り付けて、言語と地域を選択し、音声を選択します。次に、[音声を聴く]を選択し、アプリケーションとサービスに統合します。

プレーンテキスト SSML ⓘ

こんにちは、ミズキです。読みたいテキストをここに入力してください。

**テキスト入力部分**

残り 1467 文字 (最大 1500 文字) デフォルトのテキストを表示 テキストを消去

言語とリージョン

日本語 ▼

音声

Mizuki, 女性

**言語・音声選択部分**

▶ 音声を聴く

MP3 のダウンロード

ファイル形式を変更

▶ 発音のカスタマイズ

# AWS Polly

The screenshot shows the AWS Polly console interface for the text-to-speech feature. The main heading is "テキスト読み上げ機能" (Text-to-Speech Function). Below it, there are instructions in Japanese: "音声の聴き取り、カスタマイズ、ダウンロード。準備が整ったら統合。" and "ウィンドウにテキストを入力するか貼り付けて、言語と地域を選択し、音声を選択します。次に、「音声を聴く」を選択し、アプリケーションとサービスに統合します。"

Key elements and callouts:

- Text Input:** A text area contains "こんにちは、ミズキです。読みたいテキストを". A callout box explains: "音声の言語・性別を選択する。" (Select the language and gender of the voice).
- Language and Region:** A dropdown menu is set to "日本語". A callout box explains: "[ファイル形式の変更]: ダウンロードする場合のファイル形式・サンプリングレートを設定する。" (When downloading, set the file format and sampling rate).
- Voice Selection:** Two radio buttons are visible: "Mizuki, 女性" (selected) and "Takumi, 男性". A callout box explains: "[ダウンロードボタン]: 入力したテキストを音声ファイルとしてダウンロードする。" (Download the input text as an audio file).
- Buttons:** A blue button "▶ 音声を聴く" (Listen to audio) and a grey button "↓ MP3 のダウンロード" (Download MP3) are highlighted. A link "ファイル形式を変更" (Change file format) is also visible.
- Character Count:** A status bar shows "残り 1467 文字 (最大 15000 文字)".

# AWS Polly

---

- SSMLとは？
  - 音声合成マークアップ言語
    - 合成音声の作成を支援するためのXMLベースのマークアップ言語
  - 入力したテキストから音声を生成する方法を詳細に制御することができる。
  - <http://www.asahi-net.or.jp/~ax2s-kmtn/ref/accessibility/REC-speech-synthesis11-20100907.html>
  
- AWS Pollyでの対応
  - [http://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/polly/latest/dg/supported-ssml.html#supportedtags](http://docs.aws.amazon.com/ja_jp/polly/latest/dg/supported-ssml.html#supportedtags)



# AWS Polly

---

- SSMLの例①

```
<speak>
```

```
<p>こんにちは、ここは<sub alias="とある某所">シグミックス</sub>の  
会議室です。 </p>
```

```
<break time="1s"/>
```

```
<p>今日は<prosody volume="+100dB" rate="x-slow">勉強会</prosody>が  
開催されています。 </p>
```

```
</speak>
```

# AWS Polly

---

- SSMLの例②

```
<speak>
```

```
<s>今日は<say-as interpret-as="date">20171220</say-as>です。 </s>
```

```
<s>今日は若干寒いですが、<say-as interpret-as="expletive">コートは不要</say-as>です。 </s>
```

```
</speak>
```

# AWS Polly

---

- まとめ
  - 読み上げはとても簡単にできる。
  - SSMLは、読み方、発音、速度、音量といった読み上げの細かい制御をすることができる。
  - コンソール上の使い方はプレーンテキスト、SSMLで特に差異はない。

# AWS WorkSpaces

---

- 今回利用したバージョン
  - Windows 7 Standard
  - Windows 10 Standard
  - Windows 10 Standardをベースにしたカスタムバンドル
    - カスタムバンドルは無料枠外の機能
  - Firefox 57.0.2
  - クライアントアプリ (Windows版) 2.4.2.544

# AWS WorkSpaces

---

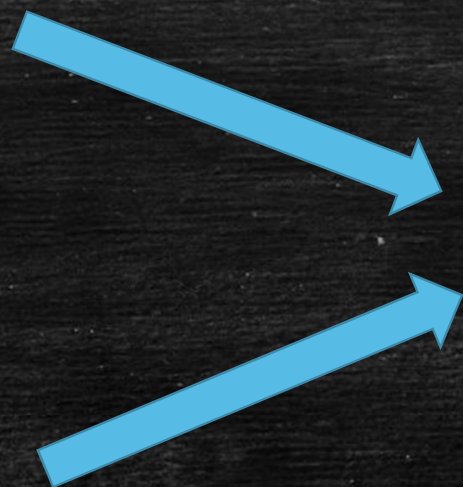
今回の利用方法



Web Access

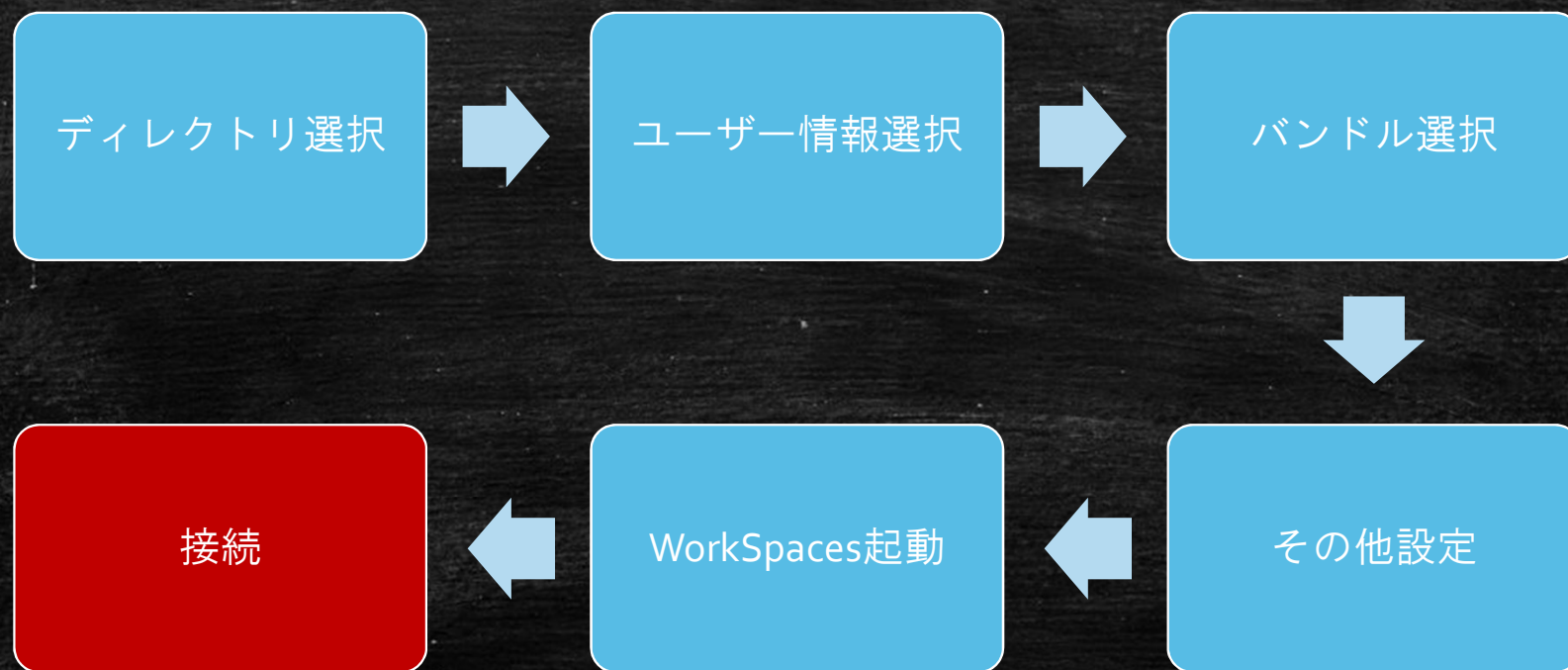


クライアントアプリ



# AWS WorkSpaces

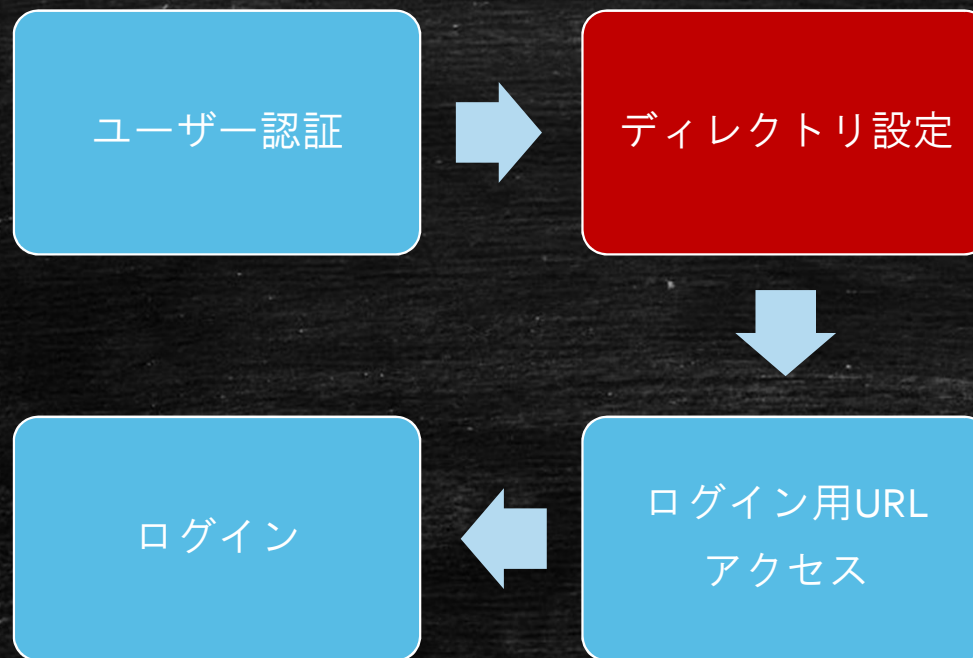
WorkSpacesに接続するまで



# AWS WorkSpaces

---

WebAccess



# AWS WorkSpaces

---

- 利用時の注意点

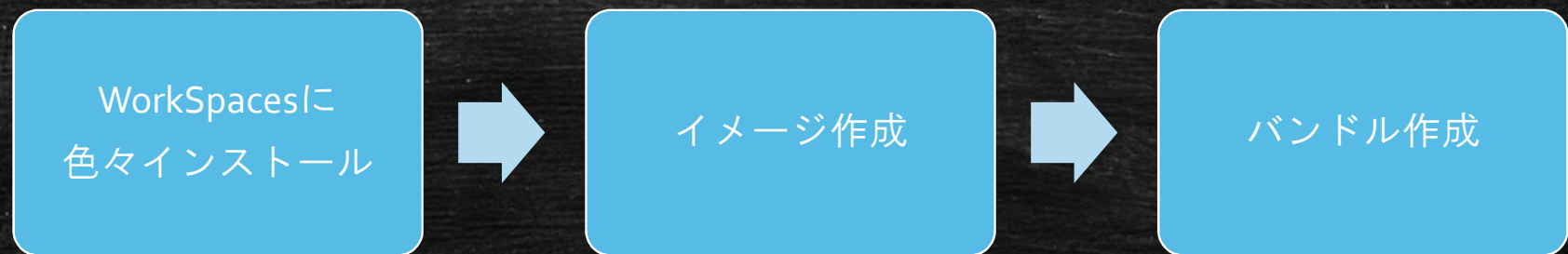
- WebAccessは利用できるバンドルが限定されている
  - Windows7のみ対応している
  - ブラウザはFirefox、Chromeの指定バージョン以降のみ
- WebAccessはデフォルトでは許可されていない
  - ディレクトリの設定を自身で変更する必要がある
- 対応OSは英語版
  - キーボードもUSレイアウトなので物凄く入力にくい
- WorkSpacesは作成に数十分かかる
- デフォルトでアクセスできるのはDドライブ（Cドライブもエクスプローラに入力すればアクセスはできる）



# AWS WorkSpaces

---

## カスタムバンドル作成



# AWS WorkSpaces

---

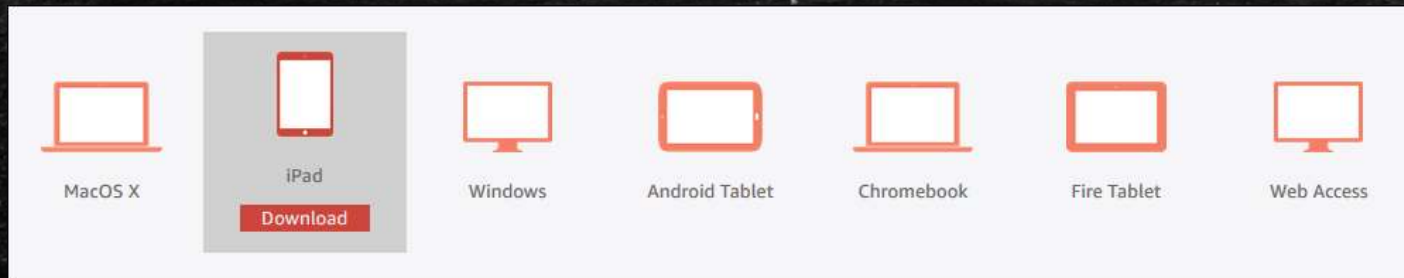
- カスタムバンドル作成時の注意点
  - イメージを作るのには小一時間かかる（イメージからバンドルはすぐ作成できる）
  - Web履歴やCookie、メールプロファイルは削除してから作成すること
  - カスタマイズ対象のツール等は、以下のいずれかに配置しておく必要がある
    - Cドライブ
    - D:¥Users¥ユーザー名
  - カスタムバンドルは無料枠ではないので料金がかかる
- 詳しいことは以下のURL参照
  - [http://docs.aws.amazon.com/ja\\_jp/workspaces/latest/adminguide/create-custom-bundle.html](http://docs.aws.amazon.com/ja_jp/workspaces/latest/adminguide/create-custom-bundle.html)

# AWS WorkSpaces

---

- まとめ

- ベースは英語なので、日本語化は自力で行う必要がある
- WebAccessはWindows7にのみ対応している
- WebAccessを利用するためには、はじめにディレクトリ設定で許可しておく必要がある
- キーボードはUSレイアウトになっている
- 複数種類のデバイスに対応したクライアントアプリが利用できる



ご清聴ありがとうございました。